(平成28年6月作成)

(H.27)No.

2053

事務事業評価シート

 事務事業名
 子ども医療助成事業

 担当部局名
 担当室名
 室長名

 市民部
 保険年金室
 中山 正己

	会計区分	事業コード	191001			
	一般会計	(中事業名)※予算書事業名				
款	次 民生費 児童医療助成事業					
項	児童福祉費		(小事業名)			
日	児童福祉総務費		子ども医療	助成事業		

2053

1. 事務事業の位置付け

総	政 策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし					
合計画	基本施策	5	自立を支える地域福祉の充実					
	施策	3	子育て・子ども支援					
	小 施 策	1	総合的な子育で・子ども支援施策の整備					
重点施策コード								

2. 事務事業の概要

(H.28)No.

事業目的(めざす効果)

中学3年生までの医療費を助成することにより、子どもをもつ家庭の子育てを支援します。

事業内容

0から15歳までの子どもにかかる、通院・入院の保険診療自己負担相当額を助成します。 ※中学生の通院分は平成28年9月診療分から実施しま

※中学生の週院分は平成28年9月 す。

主な事業の 実績・計画 · 医療助成件数 100,302件

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

·手数料95.441件 ·手数料95.500件

H.27年度(事業量·取組実績) H.28年度(事業量·取組計画)

•医療助成件数

101,200件

H.29年度(事業計画) H.30年度(事業計画) H.31年度(事業計画)

·医療助成件数 ·医療助成件数 101200件 101,200件

・医療助成件数 101,200件

・手数料95,500件 -手数

·手数料95.500件 ·

-手数料95.500件

		H.27年度(決	內算見込)	H.28年度(作成時予算額)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)
①直接事業費			188,735千円	191,000千円	191,000千円	191,000千円	191,000千円
訳(千円	国·県支出金		94,343	85,345	85,345	85,345	85,345
	地方債						
	その他()						
	一般財源	(0)	94,392	105,655	105,655	105,655	105,655
스	職員		0.90人	0.92人	0.92人	0.92人	0.92人
数	臨時職員等		0.70人	0.84人	0.84人	0.84人	0.84人
②概算人件費		(0千円)	8,030千円	8,421千円	8,421千円	8,421千円	8,421千円
①+	- ②総事業費	(0千円)	196,765千円	199,421千円	199,421千円	199,421千円	199,421千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.27年度の取組評価、課題)

今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)

※「考察」及び「今後の対応方針」の記載対象外の事務事業

点検項目

内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)

(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)

|特に、乳幼児期に負担する医療費は高額になる傾向があり、それを |助成することで、子どもを産み、育てやすい環境づくりに寄与します。

(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】

継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)

継続(現行)

具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由

財源確保により平成28年9月診療分から対象範囲を拡大して医療費助成を実施します。現在、助成金が増加している等の理由から福祉医療助成制度存続のため、県及び市町で制度のあり方について検討しています。

✓ 6. 事務事業の取組に関係する主な市の計画